

外国ルーツを持つ若者が 自ら進路を選べることを支える 官民一体となった仕組み構築事業

進捗報告

2024年6月7日

事業概要

【中長期アウトカム】

広島県内に暮らす外国ルーツの若者が、自ら進路を定め、その実現に向けて取り組むことができている社会

【方針1：当事者】

ここでの当事者とは、外国ルーツの若者を中心に、その家族と学校・教員のことを指します。

■短期アウトカム

①外国ルーツの若者

外国にルーツをもつ若者が、日本語能力を身に着け、進路を定めるために必要な情報にアクセスできている状態。

②当事者家族

当事者家族が日本の進路選択について正しく情報を得て、当事者の進路選択を応援できている状態。

③当事者が通う学校教員

当事者が通う学校の教員（進路指導員、担任等）が、支援者と連携して十分な支援ができている状態。

【方針2：支援者】

ここでの支援者とは、当事者に対して寄り添い支援を行うNPO、日本語教師、ボランティア等のことを指します。

■短期アウトカム

①支援者ネットワーク構築

支援者（NPO、日本語教師、日本語学校、タブマネ、ボランティア等）ネットワークが構築され、参加者間のコミュニケーションを通じてともに問題に向かい合う仲間という意識を持っている。

②支援者ノウハウの向上

ネットワークに参加している支援者が『同じ外国にルーツを持つ若者の進路選択に関する問題』に関連する情報を共有し、その支援に必要な学習等を通じて当事者支援ノウハウを身に着け成長している。

③支援者組織基盤強化

支援者組織の組織基盤が整い、持続可能な運営ができている状態。

【方針3：仕組み】

ここでの仕組みとは、教育委員会等の公の組織を巻き込んだ協働による持続可能な構造のことを指します。

■短期アウトカム

①関係者ネットワーク構築

行政、専門家、支援者等による関係者ネットワークが設置され、外国にルーツを持つ若者の進路選択に関する問題にアクセスできている状態

②知見の共有

本事業における問題や課題、成果や取組等が可視化され、関係者に共有されている状態

③支援者の拡大

潜在的な支援者に対する情報提供や育成・参加機会が提供され、新たな支援者が生まれている状態

当事者

支援者

仕組み
